

『ソイルパークひらた』開業

出雲市小境町に
9万立方メートル

民間の建設発生土受け入れへ

鋳物廃砂・スラグを利用した製品の製造・販売を行う出雲市平田町の(株)ReeFLEX(出雲市平田町、山崎章弘社長)が2日、同市小境町地内に建設発生土受け入れ施設「ソイルパークひらた」を開業した。施設規模は9万立方メートル、重大土砂災害が発生した際の受け入れ施設にもなるという。

同社によると、市内には、民間処理施設である「出雲改良土センター」が閉鎖した2015年3月以降建設工事で発生した土の受け入れ先がなく、建設工事会社個々で処理施設を探している状況で、

困窮していた。13年の広島市で発生した集中豪雨による大規模土砂災害でも、処理先がないことが復興が遅れる原因の一つだったことから、災害時の受け入れ先となる施設の確保が待たれていた。

「ソイルパークひらた」は市道平田松江幹線沿いに開設し、荒廃農地や遊休山林だった1・7畝の敷地に、9万立方メートルの受け入れ量で完成した。事業期間は、満杯となるまでの約10年間。

受け入れ時間は、午前8時から午後5時まで。受け入れの1週間前までに利用契約書を提出し、搬入計画を前日の午後3時までに報告する必要がある。問い合わせは同社(電話番号0853・63・4551)まで。



2日開業した「ソイルパークひらた」=出雲市小境町の山中